



事業別レポート 2020-2021



認定NPO法人アクセス
access-jp.org/

【写真】食費の緊急支援を受け取った子どもとその保護者／2020年6月（都市スラム・トンド地区）

2か月半の
厳しい
ロックダウン

フィリピンの大部分の地域で、20年3月～5月末の間、食料品の買い出し以外の外出は原則禁止という厳しい規制が敷かれ、収入が絶たれる人が続出しました。

就学を断念する
子ども・若者
400万人増

6月以降も感染対策による移動規制が続き、経済が停滞。就学を諦める子ども・若者の数が、パンデミック前よりも400万人増えました。

15歳以下と
高齢者は
外出禁止

学校での対面授業は完全停止。一部の都市ではオンライン授業、それ以外の地域では学校から配布されたプリント教材での在宅学習が続きました。

寄付つきフェアトレード商品セット 133セット完売！

働かないと、食べていけない。どうか仕事をさせて。

ロックダウンで働けない生産者の声に応え、前払いで商品を発注。自粛生活で息苦しい日々を過ごす日本の皆さまに、ほんとはできる商品セットをお届けしました。



社会人
ボランティア
今町駿介さん

僕は大学生の時にスタディツアーでフィリピンを訪れ、その後フェアトレード事業部で活動しました。社会人になって携わることは少なくなっていたのですが、コロナ禍の中「フェアトレード生産者が外出禁止で危機的な状況」という記事が目にとまり、なんとかできないかとアクセス職員さんに連絡。

そこから「寄付つきフェアトレード商品セット」が生まれ、沢山の温かい支援を頂くプロジェクトとなったことを本当に嬉しく思います。このプロジェクトを通じて改めて、作る人も、売る人も、買う人も、みんなハッピーになれるフェアトレードの魅力を実感しました。

のべ618世帯へ、 食費等の緊急支援

ロックダウンにより収入が減少した家庭、火災・台風で被災した家庭へ、食費や食料の支援を届けました。（49名から158万円のご支援をいただきました）



ロウェナさん
奨学生ヤスミンちゃんの母

ロックダウン中の生活は本当に大変でした。漁港が閉鎖され、夫は収入源を失ったのです。近所で魚を売ろうにも、皆さん収入が減っていて、あまり売れませんでした。ですから、日本の皆さんから食料や現金の支援を頂いたときはとても嬉しかったです。本当にありがとうございました。

一年後、私はアクセスで
活動し続けられてるのかな？

#アクセス存続募金



#アクセス存続募金
341人から
715万円のご寄付が

主要な収入源の1つだったスタディツアーが中止になり、資金繰りが難しくなった2020年。皆さまからの応援のおかげで、危機を乗り越えることができました。

応援メッセージ
寄せられた



今、大変な時だからこそ、アクセスのようなボランティア団体が必要だと思っています！出来る事が少なく、難題続きでも、何かをやろうとする人が必ず居ます！変化を恐れず前に一緒に進みましょう！！



アクセスのスタディツアーでは、何ものにも代えがたい体験をたくさんさせていただきました。その時学んだこと・感じたことは、今も私の人生に影響を与えていると思います。微力ながら、応援しています！

子ども教育プログラム



学校での対面授業がないため、学校から配布されたプリント教材で勉強をする奨学生



サポーターの方から届いたギフトとお手紙をもらって大喜びの奨学生たち

マニラ市
トンド地区

アラバット島
ペレーズ地区

2020年度の支援実績

★農漁村ペレーズ地区
202人（卒業42人）

★都市スラム トンド地区
32人（卒業4人）

貧困家庭の子どもが小学校を卒業できるように、また子どもの権利が侵害されることなく安心してのびのびと成長できるように支援する教育里親制度です。子ども教育サポーターの方からの年18,000円のご支援で、フィリピンの子ども一人が一年間、安心して学校に通うことができます。1997年に開始し、これまでに本プログラムの支援で408人が小学校を卒業しています。

就学サポート



通学に必要な制服、カバン、靴、傘、筆記用具、学校に支払う諸費用などを支援します。

子どもの権利を守る



子どもの権利意識を向上させるためのセミナーを行うとともに、保護者が協力して子どもの権利保護のために行動できるよう働きかけます。

生きる力を育む



子どもたちを対象にした土曜日・夏休みの補習授業を通じ、子どもたちの生きる力（ライフ・スキル）の向上を図ります。

農漁村ペレーズ地区 / 奨学生数 202人

【就学サポート】

- ✓ 対面授業が行われなかったため、制服・靴・カバン代が不要に。その分の資金で、地元小学校にコピー用紙を寄贈。（学習プリントを使った在宅学習に入って以来、予算不足に悩むペレーズ地区の公立学校は、コピー用紙購入のための寄付を保護者や地域から募っています。）
- ✓ 軽食の支給：17回

【子どもの生きる力を育む活動】

夏休みの補習授業 3回
土曜日の補習授業 12回

★ プリント教材、2つのトピック

- ✓ 自己認識を深める
- ✓ コミュニケーション力を高める

【子どもの権利保護のための保護者活動】

集落ミーティング 9回（14集落）

* 感染予防対策のための規制が緩和された20年7月より、少人数で屋外（又は風通しの良い場所）でのミーティングを再開しました。

都市スラム トンド地区 / 奨学生数 32人

【就学サポート】

- ✓ 対面授業が行われなかったため、制服・靴・カバン代が不要に。その分の資金は、学校からデータで配布される学習プリントの印刷費として、各家庭に毎月定額を支給しました。
- ✓ 給食（昼食の支給）：週3回

【子どもの生きる力を育む活動】

土曜日の補習授業 24回

子どもの権利について
学ぶコミック教材を配布

【子どもの権利保護のための保護者活動】

保護者向けセミナー「責任ある子育て」 3回

保護者ミーティングは、感染予防のための自治体による規制に従い、戸別訪問、携帯電話を使ったグループトーク、少人数での屋外でのミーティングを組み合わせて実施しました。

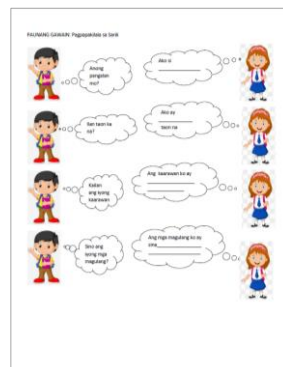
子どもの生きる力を育むプリント学習 子どもたちの声



私はこの教材をやったことで、少しずつ自信がついてうれしいです。以前はとては引込み思案で、いつも「自分にはムリ」と思っていました。でも今では、自分のやりたいことをやってみることができるようになりました。絵を描くのが得意だということにも気づきました。（5年生）



僕は自分がいい子だということを知りました。だって、ひどいあだ名で呼ばれても怒ったりしないからです。それに、7歳だけど、ご飯を炊いたり、水を汲んだり、お皿を洗ったりできるのです。（2年生）



左：自己認識を深める土曜補習プリント（ペレーズ地区）
右：子どもの権利を扱ったコミック風プリント（トンド地区）

コラムページで、
より詳しい報告記事
をご覧ください！



YouTube

サイト上で、「アクセス事務局」で検索！
子ども教育プログラム関連の動画などを公開しています。

本プログラムは2020年度、子ども教育サポーターの皆さまからのサポーター費および2つの助成金（連合 愛の基金／風に立つライオン基金）によって実施しました。

フェアトレード プログラム

働きたい女性や若者に雑貨生産の仕事を提供、生産された品物をフェアトレード商品として販売。収入向上に加えて、生産者グループとして協働する力の向上につなげています。



フィリピンで

生産者8人が

- カード 3,574枚
- ココナッツ雑貨 1,545点を日本に納品



日本で

20人のボランティアと職員で商品を検品

2020年度の実績

- ★日本で売れた枚数・点数
カード 4,162枚、ココナ 1,283点
- ★日本での売り上げ、過去最高に！
190.7万円

生産者の声



ココナッツ雑貨生産者
ミレットさん

私たちの商品を選んでくださった皆さまに感謝しています。皆さんからのご注文は、パンデミック下にある私たちにとって大きな力です。日々を生き抜くために、大きな支えになっています。

ボランティアスタッフの声



検品ボランティア
美琴さん

アクセス事務所の2階でフィリピンから届いたカードを次々とチェックする検品作業。ナチュラルな素材で可愛らしい色合い、細かな飾りにいつもきゅんとしています。このカードが、買ってくれた日本のお客さんをハッピーにし、フィリピンの生産者の人たちの生活の支えにもなっているんだな~と考えると、ボランティアとして関わっていることをとても嬉しく感じます。

お客さまの声



“ テレビで紹介されていて素敵なカードだと思い購入しました。デザインが可愛いし丁寧に作られています。どのように作られているか、検品されているか番組で拝見しました。良い物に出会えたと思っています。子どもも大喜びでした。 ”



“ アクセススタッフさんたちを通じて、生産者さんにつながっているような気持ちになります。手作りで思いが込められたものを買うことができるのは、私の買い物の楽しみの1つでもあります。これからも、素敵な作品に出会えることを楽しみにしています！ ”

テレビで紹介されました！

2020年12月16日、朝日放送のCASTで、アクセスのフェアトレードが特集されました。その直後から続々と問い合わせがあり、売り上げも大きく伸びました。



ここから放送内容をご覧いただけます

「2020年度を振り返って」 担当スタッフ 竹内彩帆



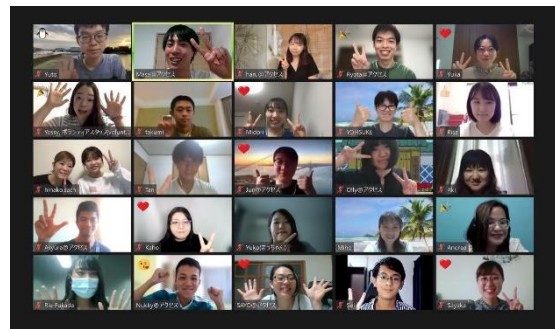
コロナ禍で思うように動けず、何もかもが「これまで通りにはいかない」一年でした。フィリピンでのロックダウンにより生産者も現地スタッフも身動きが取れず、商品生産も輸送もストップ。新作カード開発のために日本から出張にも行けません。そんな中で、日本にある在庫をかき集めて寄付つきセットを販売、多くの方に賛同・協力いただきました。夏には日本全国のフェアトレードショップさんと共にクラウドファンディングを実施、「コロナ禍で苦しむショップさんと現地生産者を支えよう」と志を共にする方々と活動できました。フィリピンではロックダウンが明けても材料調達に苦労し、入荷量が十分でない状態で臨んだクリスマスでは、例年アクセスのカードを楽しみにしてくださるお客さまやお取引先のみなさまに支えられました。パンデミックや災害が発生するとそのしわ寄せは社会的に力の弱い層に流れ、平時に存在する社会格差はその姿を顕著に表します。そのような中で、農村地域の女性・若者への仕事づくり、そしてアクセスのフェアトレード事業を継続していけることに心から感謝しています。引き続き、よろしくお願いいたします。

日本での活動

「同じ思いを持った人たちが出会い、ともに活動する中で地球市民として成長する」という場を提供しようと、様々な形でボランティアやインターンの皆さんとともに活動しました。

53人が フィリピンを体感 オンラインスタディツアー

立命館高校、立命館宇治高校、龍谷大学と連携し、オンラインで都市スラムなどをバーチャル訪問。フィリピンの人々とのリアルタイムでの交流を通して、貧困の現実や、フィリピンの人々の魅力を体感しました。



21人の若者とオンライン・インターンシップに挑戦

週1回のミーティングをすべてオンラインで行う、新しいカタチのインターンシップを開始しました。

第一期：2020年度上半期

高校生から留学生や社会人まで、全国各地から9名のインターンが参加し、「#アクセス存続募金」のクラウドファンディングを企画・運営しました。

第二期：2020年度下半期

中国籍の学生やバングラデシュ在住のワーキングマザーを含む12名のインターンが参加。アクセスがスタディツアーで培ってきたノウハウを最大限生かした日本新規事業の開発に取り組みました。

34人がフェアトレード事業運営に参加

3,574枚を検品！

20人のボランティアが、フィリピンから届いたグリーティングカードを、1枚1枚で丁寧に確認。小さな不備は修理して、質の高い品物だけをお客さまにお届けしました。



寄付つき商品セット販売、SNS広報

ロックダウンで働けなくなったフェアトレード生産者を応援するべく、6名のボランティアが商品の魅力をSNSで発信。133セット完売へとつながってくれました。

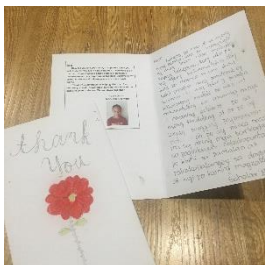
未来チケットクラウドファンディング、SNS広報

「アフターコロナの世界にフェアトレードの灯を絶やさない」という目標をかかげ、全国のフェアトレードショップが協力して取り組んだクラウドファンディングにアクセスも参加。4名のボランティアとともに、フェアトレードをもっと身近に感じてもらうための広報月間としてSNS発信を強化しました。



クリスマス特別企画オンラインイベント

4人の大学生とともに、「クリスマス×フェアトレード」をテーマに、海の向こうのフェアトレード生産者とのつながりについて、ゆるっと考えるイベントを開催しました。



15人が900通以上を翻訳

フィリピンの奨学生や保護者が書いたサポーター宛のメッセージカードの翻訳は、全国各地の翻訳ボランティアの皆さんが日本語訳してくださいました。

社会人GETが教材開発

GET (Global Education Team) メンバー2名は、オンラインワークショップを開催するとともに、フィリピンの現状を題材にした、学校等で使えるワークショップ教材の開発に取り組みました。

インターンの声を動画で

アクセスのインターンシップは、強みを見つけ、議論する力や協働する力を伸ばすことを大切にしています。



認定NPO法人アクセスは、フィリピンの子どもと女性を応援する、京都生まれの国際協力NGOです。

Since1988

☎ 075-643-7232 ✉ office@access-jp.org
<https://access-jp.org/>



子どもに教育を
子ども教育プログラム



女性に仕事を
フェアトレード事業



日本の若者に成長の場を
スタディツアー／ボランティア
インターンシップ